

參考資料

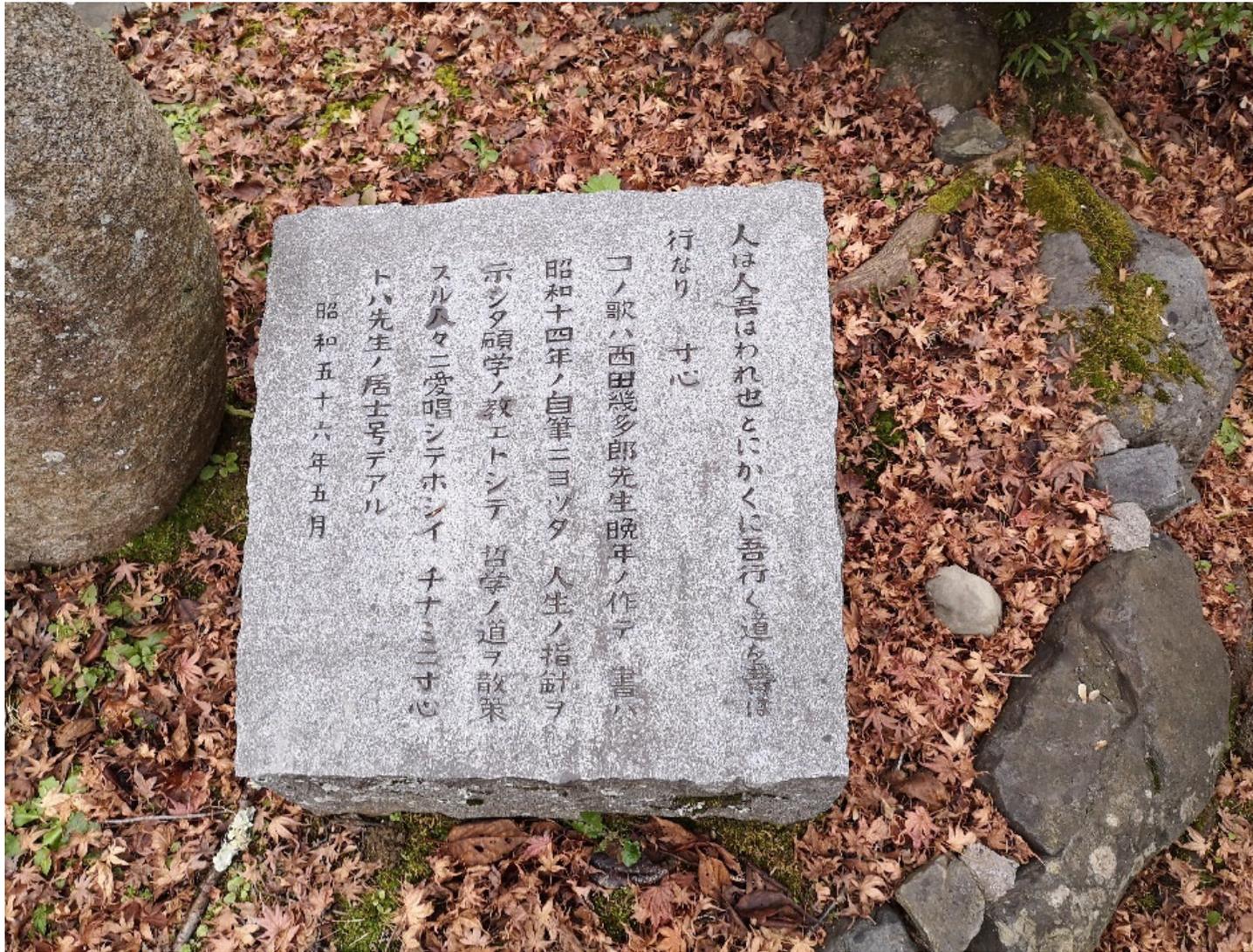
1. 西田幾多郎 その人物

1.1 西田幾多郎と哲学の道



図 1 西田幾多郎歌碑

人は人吾はわれ也とにかくに吾行く道を吾は行なり
寸心



人は人吾はわれせとにかくに吾行く道を吾は
行なり 寸心

コノ歌ハ西田幾多郎先生晩年ノ作テ書ハ
昭和十四年ノ自筆ニヨツタ 人生ノ指針ヲ
示シタ碩学ノ教エトシテ 哲学ノ道ヲ散策
スル人々ニ愛唱シテホシイ ナナニ寸心
トハ先生ノ居士号デアル

昭和五十六年五月

図 2 歌碑の説明

1.2 疎水が山から下りてくる所

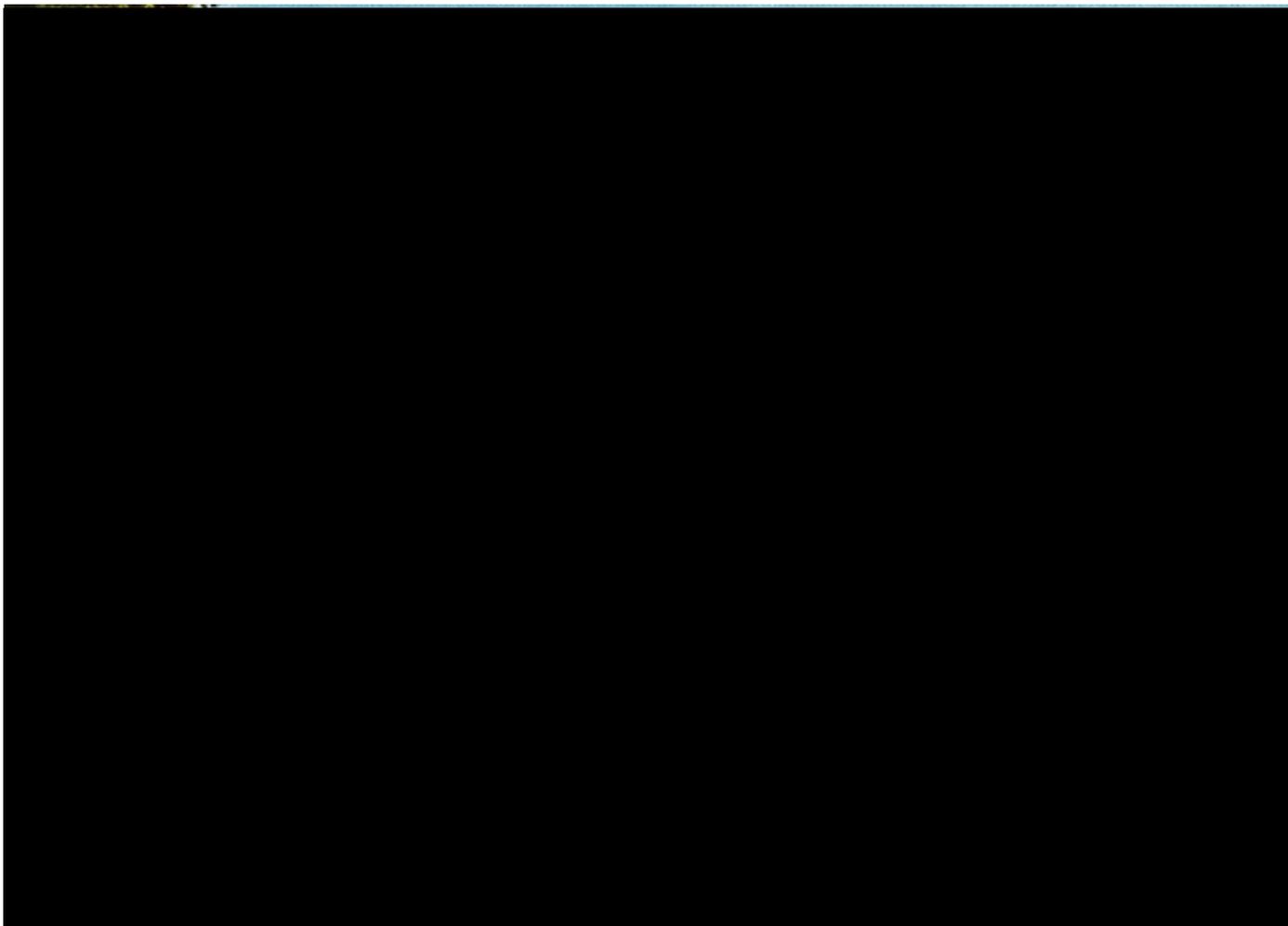


図 3 昭和初期の南禅寺船溜・
蹴上インクライン
京都市水道局琵琶湖疎水記念館提供



図 4 現在のインクライン



図 5 インクライン横の水路の出口
右の小さな橋の欄干に注目



図 6 扇ダム放水路 その1

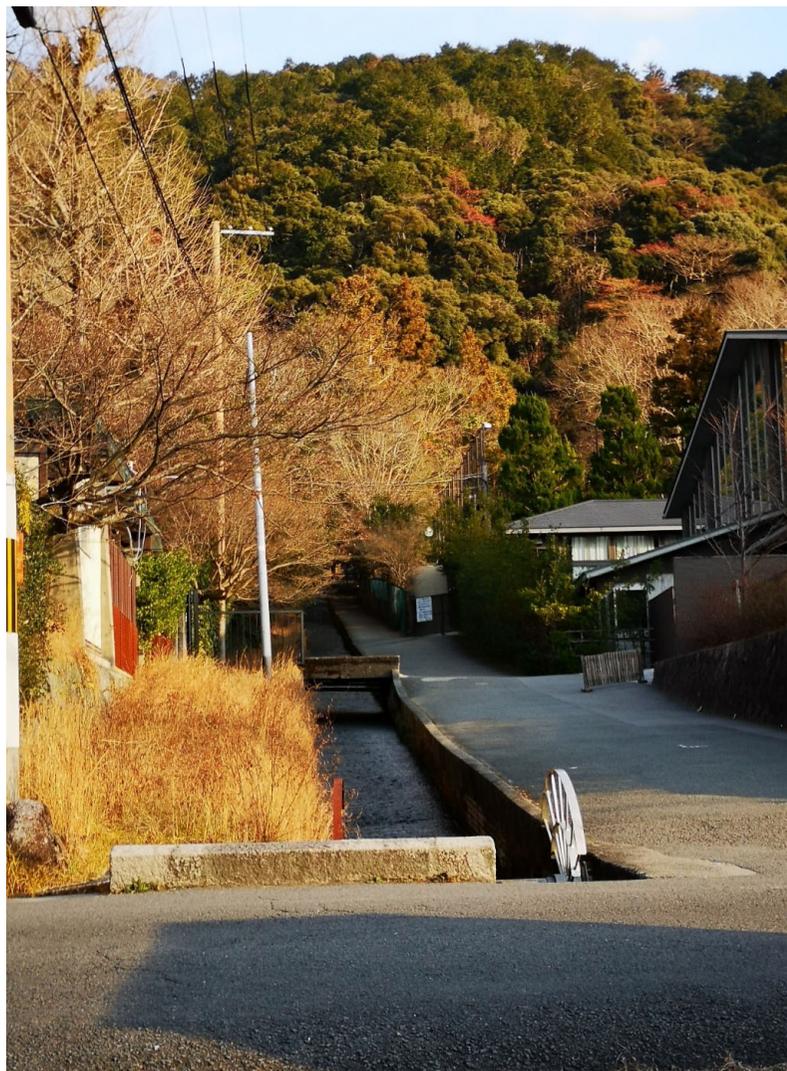


図 7 扇ダム放水路 その2
おそらく幾久彦さんにはこう見えたはず

1.3 田中上柳町の家と哲学の廊下



図 8 解体前の西田幾多郎田中上柳町旧宅と「哲学の廊下」
JTBプランニングネットワークは、林が、360度写真の撮影と、
Google Street View への登録を依頼した会社。

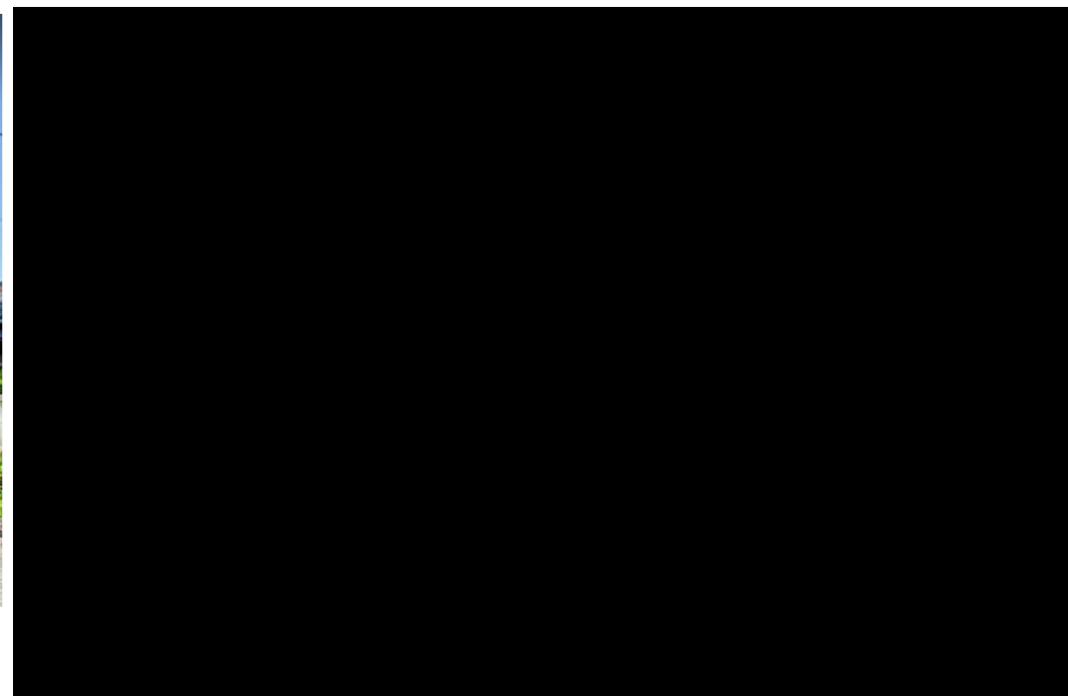


図 9 昭和21年7月の哲学の廊下と旧西田書斎 西田外彦氏撮影
提供西田哲学館

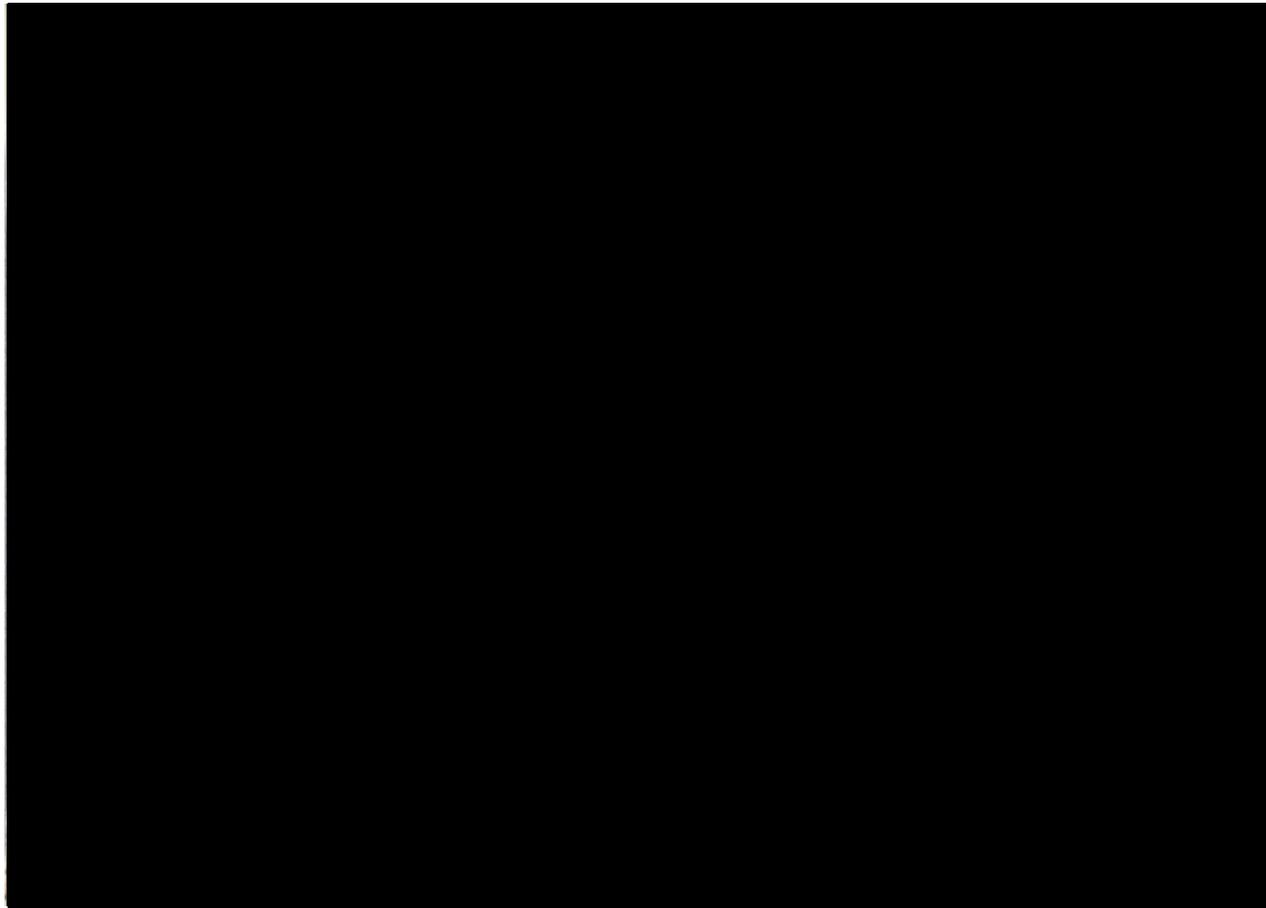


図 10 昭和21年7月の西田旧宅 西田外彦氏撮影
提供西田哲学館

後ろの家が西田旧宅。前の家は、西側の半分が取り壊されている。これは、昭和20年8月に、現在の一条寺道という二車線道路の位置にあった家屋が、空襲による火災への対策として「疎開」されたためである。京都には 御池通、五条通など、例外的に幅の広い通りがいくつかあるが、これらも建物疎開によって広がったものである。例えば、御池通に面する有名な柊屋旅館も、建物疎開のために、その建物の一部を失っている。この写真から、西田旧宅は、柊屋の様に辛くも建物疎開を生き延びたことがわかる。

1.4 亡き児を悼んで



図 1 1 西田幾多郎三高寄贈本

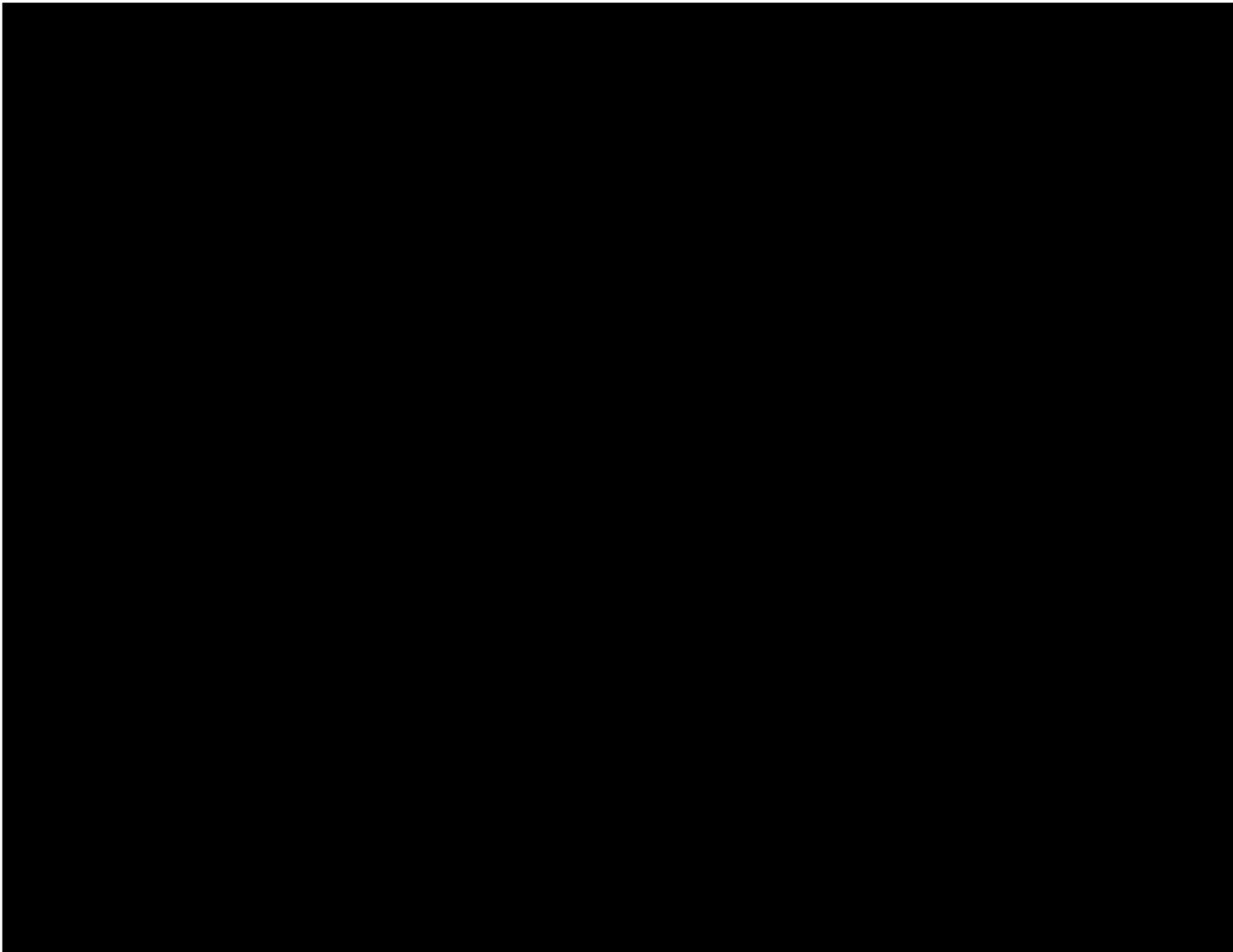


図 1 2 西田幾多郎三高寄贈本の和歌